



“讃” 平和を讃えて

広島交響楽団

第405回プレミアム定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 405th Premium Subscription Concert



©Naoya Yamaguchi

指揮
下野竜也
Conductor
Tatsuya Shimono

©Hiromichi Uchida

ピアノ
小山実稚恵
Piano
Michie Koyama

2020.11.13(金)

18:45開演 [17:45開場]

Fri Nov 13, 2020 Start 18:45 [Open 17:45]

広島文化学園HBGホール

広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込/全席指定)

S席5,300円・A席4,800円・B席4,300円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/会員先行発売10月8日(木)(9:00~広響事務局のみ)一般販売10月13日(火)

〈ベートーヴェン・コンチェルト・シリーズ〉

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番変ホ長調作品73「皇帝」

Beethoven: Piano Concerto No.5 in E-flat major Op.73 "Emperor"

ブルックナー:交響曲第4番変ホ長調「ロマンティック」(ハース版)

Bruckner: Symphony No.4 in E-flat major "Romantic" (Haas Edition)

※出演を予定しておりましたゲルハルト・オピッツが新型コロナウイルスの影響により来日が間に合わないためソリストを変更しました。

コンサートマスター:佐久間聡一
Concertmaster: Soichi Sakuma

プレイガイド

ローソンチケット(Lコード:62797)・チケットぴあ(Pコード:175-003)・広響事務局

主 催 | 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助 成 |



文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

プレミアム協賛 |



後 援 | 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。

広響公式ホームページ▶



お問い合わせ | 広響事務局 TEL:082-532-3080
HP: <http://hirokyo.or.jp>

私達には小山実稚恵さんがいる!!

今般の新型コロナウイルス感染症による世界中への影響はまだまだ続いております。皆さまもそれぞれの場所、お立場で、環境でこの未知との敵と対峙していらっしゃると思います。

今シーズン、私達広響も多くの影響を受けておりますが、お客様も私達も楽しみにしていた多くの海外からのアーティストの来日が叶いません。皆様も特に楽しみにしていらっしゃるでしょうゲルハルト・オピッツさんもご登場頂く事が叶いませんでした。

その様な中、小山実稚恵さんがご多忙なスケジュールをご調整下さり、皇帝を演奏して下さいます。

小山実稚恵さんの事はみんなが大好きです。私も全国各地のオーケストラで小山さんと協演させて頂く機会がありますが、その場に現れただけで、空気がパッと明るくなり、オーケストラからこれ程歓迎されるソリストがいらっしゃるでしょうか?そして、何よりもその



素晴らしい演奏でオーケストラとの音楽との対話が始まります。その延長線上に、皆さんに聴いて頂く演奏会があると言えます。コロナ禍前の定期での伊福部昭作品の名演は広島のお客様にとって記憶に新しいと思います。

我が国の音楽界はその多くを海外からの来演に頼っている事も事実です。その事により多くを学び成長していく事はこれからも我々には必要な事だと思います。

しかし今、我が国にも、目標であり憧れである音楽家も少なくありません。

小山実稚恵さんは、まさしくその様な方です。私達には、小山実稚恵さんがいます!!

どうぞお楽しみ下さい。

[指揮] 下野竜也 Conductor / Tatsuya Shimono

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)



[ピアノ] 小山実稚恵 Piano / Michie Koyama

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで、コンチェルト、リサイタル、室内楽と、常に第一線で活躍し続けている。2017年までの『12年間・24回リサイタルシリーズ』は、演奏内容と企画性に於いて高い評価を受けた。2019年から『ベートーヴェン、そして…』がスタート。これまで、国内外の主要オーケストラ、国際的指揮者との共演も数多い。協奏曲のレパートリーは60曲を超える。東日本大震災以降、被災地でも演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案した「こどもの夢ひろば“ボレロ”」を開催している。CDは、ソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結び、最新盤は2020年7月にリリースした自身初のベートーヴェンのソナタ録音『ハンマークラヴィア・ソナタ他』である。著書に『点と魂と』、平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ「傑作の森」への道のり』、『ベートーヴェンとピアノ 限りなき創造の高みへ』がある。これまで文化庁芸術祭大賞、東燃ゼネラル音楽賞本賞、文化庁芸術祭優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞等を受賞。2017年度には紫綬褒章を受章。

広響の新型コロナウイルスへの対応について

会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の取り組みを行っております。ご理解・ご協力をお願いいたします。



当日はご自宅で検温していただき37.5度以上の熱がある場合や、体調がすぐれない方はご来場をお控えください。
ご入場に通常よりお時間がかかる場合がございますので、時間には余裕をもってご来場ください。



会場内では、常時マスクの着用をお願いいたします。



手洗い、消毒の励行にご協力ください。



会場内での不要な会話は控えいただき、演奏後の「ブラボー」などのお声かけもお止めください。



客席は間隔を空けてお出しいたします。指定の席でご鑑賞ください。
入場時、トイレなどは間隔を空けてお並び頂くようお願いいたします。